

平成30年度

一般社団法人 埼玉県歯科技工士会

歯科技工士生涯研修事業(自由研修課程)



いま知っておくべきこと

- 日 時:平成30年11月23日(金・祝)13:00～17:00 (受付開始12:30)
- 会 場:埼玉県男女共同参画推進センター セミナー室1 (ホテルプリランテ武蔵野4階)  
埼玉県さいたま市中央区新都心2-2 (最寄駅:JRさいたま新都心駅徒歩約5分・裏面地図参照)
- 参加費:無 料 (当日申込みでご参加できます)
- 定 員:80名 (定員数に達した際は立ち見をご了承下さい)



講師:藤井 未来 先生 (歯科技工士・日技認定講師)

『女性が歯科技工士を続けるために』  
～女性技工士と共に働くみなさんへ～

13:05～14:55



講師:萩原 圭子 先生 (歯科技工士・日技認定講師)

歯科技工士にもできるQOL向上支援  
～欠損患者さんへのサポート～

15:05～16:55



主催:一般社団法人 埼玉県歯科技工士会

開催コード:93-51501(自由研修課程8単位)

後援  公益社団法人 日本歯科技工士会

後援  厚生労働省



## 講師：藤井 未来 先生

- ・九塵芥会員
- ・スタディグループWAVE会員
- ・(公社)日本歯科技工士会認定講師
- ・YAMAKIN(株)社外講師

### 【略歴】

- 1997年 (有)タマデンタルサービス勤務
- 2011年 青嶋ゼミ ベーシックコース10期修了
- 2012年 (有)K-Dental 勤務
- 2013年 青嶋ゼミ アドバンスコース10期修了  
同年 湯浅セミナー第1期修了
- 2015年 にしむら塾 東京8期 修了
- 2016年 (有)タマデンタルサービス勤務

## 『女性が歯科技工士を続けるために』 ～女性技工士と共に働くみなさんへ～

近年、若い技工士が減少している中、女性技工士の割合は増加傾向にあります。少し前は「雇いづらい」「育てにくい」と敬遠されてきた女性技工士の労働力も軽視できないものになってきました。

本来、歯科技工は女性にとっても向いている仕事だと思います。しかし多くの女性技工士・経営者ともに、「続け方」「雇用の仕方」を模索しているのが現状だと思います。

今回、子供が生まれてからは13年の私のたどった技工歴を軸に、産休・育休、保育園、職場復帰後の働き方、会社に協力してもらったこと、卒後教育機関、悩みと転職、これからの働き方や思い、などなど多くの若い女性技工士の皆さんが漠然と不安に思っていることや、共に働く会社の同僚・社長に知っておいてほしかったことを、私の経験を通してお話しさせていただきます。

女性に限らず、若い技工士の方や経営者の方にもそれぞれの「続け方」「学び方」「育て方」「雇用の仕方」の道を見つけ出すヒントとなれば幸いです。



## 講師：萩原 圭子 先生

- ・(公社)日本歯科技工士会認定講師
- ・(公社)群馬県歯科技工士会会員
- ・(一社)日本顎顔面補綴学会会員
- ・日本口腔顎顔面技工研究会会員
- ・群馬県歯科医学会会員
- ・デンタルアカデミー東京エピテーゼコース講師

### 【略歴】

- 1999年 埼玉歯科技工士専門学校卒業
- 同年 有限会社 みずほ歯研勤務
- 2003年 株式会社 萩原歯研勤務
- 2010年 エピテーゼ、メディカルメイク受講
- 2011年 株式会社 萩原歯研内にエピテーゼ製作室・メディカルラボKを設置
- 2014年 UCLA顎顔面補綴科研修  
同年 Medical Lab K Epithese Training School 開講
- 2017年 日本アナプラストロジスト協会設立

## 歯科技工士にもできるQOL向上支援 ～欠損患者さんへのサポート～

昨今、エピテーゼやソマトプロテーゼの製作には様々な業種の技術者が携わっています。歯科技工士はもちろん義肢装具士、特殊メイクアップアーティスト、さらには美容師や介護福祉士など物を作る業種とはかけ離れた職業についている方々も多くいらっしゃいます。

エピテーゼやソマトプロテーゼなどの補填修復物製作時における歯科技工士の役割の重要性とは技術面だけでなく歯科技工士として培ってきた知識や信頼性でしょう。さらには人工乳房など女性のセンシティブな部分の補填修復物製作において同性あることで安心感をあたえられるなど女性歯科技工士としての特権は多くあると思います。

現在日本人のエピテーゼに対する認知度の低さ、不足しているサポートなど抱えている問題はたくさんあります。今後エピテーゼやソマトプロテーゼなどの補填修復物を提供する側（技術者）、サポートする側（医療機関や保険会社）、利用者（患者さんとその家族）の三者それぞれの相互理解が深まることでより良い未来が待っていることでしょう。

今回の講演では私がエピテーゼやソマトプロテーゼを製作するようになったきっかけや製作する上での技術以外に、利用者さんとの向き合い方接し方などコミュニケーションがいかに大事か症例を交えてお話ししたいと思います。

また、お話の後エピテーゼ・ソマトプロテーゼのサンプルを直に見て触っていただき質問等お受けしたいと思います。

